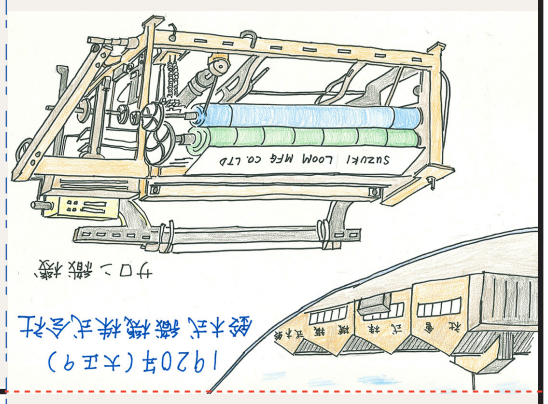
浜松の偉人シリーズ ミニ折本【鈴木道雄 編】

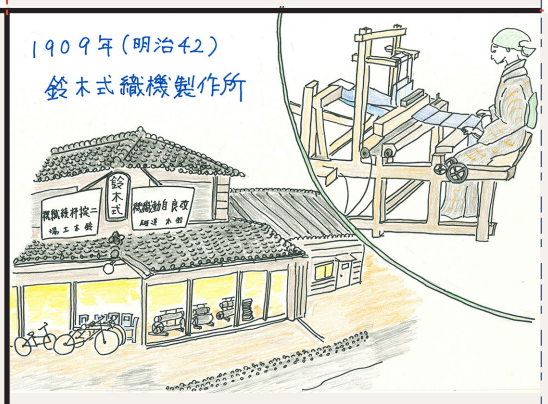
A3 サイズで印刷して、線のとおりに切り込みを入れ、折ってください

切る ━━━ 山折 ┈┈┈ 谷折 - - - -



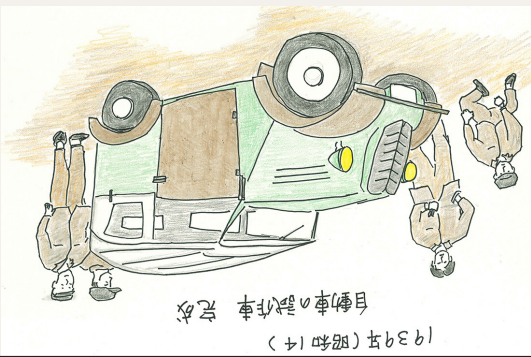
道雄は、次々と織機を改良しました。
特に「縦じまと横じま模様の織れる織機」をつくり、「鈴木式」ならではの模様や工夫に取り組みました。

5



道雄は、織機作りの仕事を一生懸命に覚え、足踏み織機を作ることができるようになりました。
そして、修業を終えて親方から独立。

6



道雄は、織機を工夫して作る一方で、もう一つの夢があります。
それは、だれもが乗れる自動車を作りたいというものでした。

7

8

大正９年（１９２０年）、今の中央区中島に鈴木織機株式会社をつくりました。

2年後には、同じ相生町に新工場を建て本社としました。

昭和４年（１９２９年）には、サロンン織機を発明し、東南アジアなどの国々に輸出しました。

さらに、その2年後には、浜松市で行われた全国産業博覧会で鈴木式織機が国産優秀賞を受賞し、「鈴木式」の名前が全国に広がりました。

1

4

製機織式鈴木（年９０９１）年 42 明治
作所をつくりました。

彼がつくった鈴木式織機の第１号機は母親にプレゼントされました。

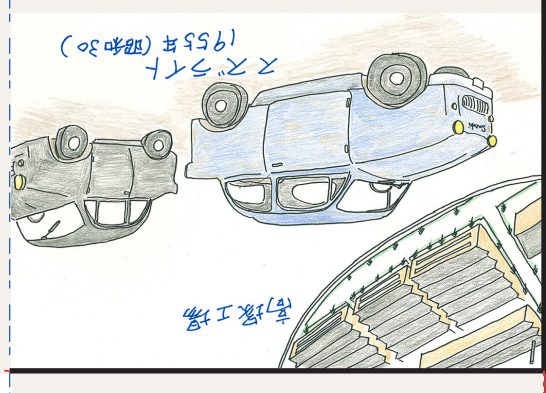
それを使ったお母さんは、今までの織機より１０倍も能率があがり大喜び。
お客からの注文が殺到しました。

そのころ、芳川村では、綿布を織る家が多く、道雄の母親も機織りの仕事をしていました。
道雄は、機織りの音を聞いて育ちました。
１４才になった道雄は、大工職人の弟子になりました。

2

3

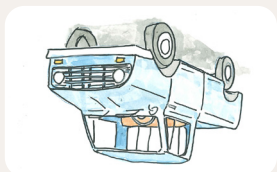
鈴木道雄は、明治２０年（１８８７年）
今の浜松市中央区貝野町（昔の浜名郡芳川村貝野）の農家に生まれました。



昭和２２年（１９４７年）今の浜松市中央区高塚町に本社をおきました。
自動車作りには、反対の声もありましたが、道雄は、どうしてもやるべきだと社員を励まし、開発に取り組みました。

10

11



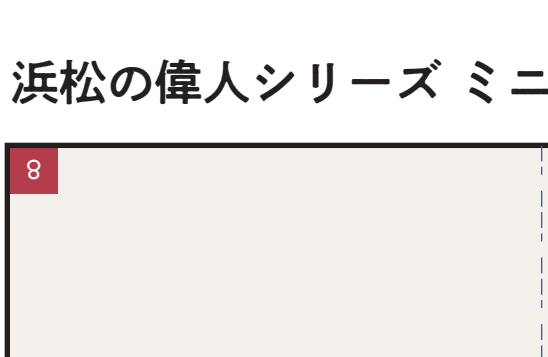
スズキキャリィ
昭和36年（1961年）に発売した
軽四輪トラック

12

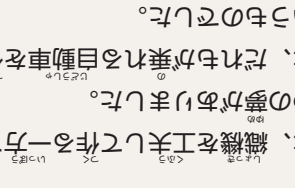
昭和２９年（１９５４年）会社の名前を「鈴木自動車工業株式会社」としました。

その翌年には、多くの人々が自動車を手に入れることができることを考えて、軽四輪自動車「スズライト」を発表しました。

6



昭和 27 年（１９５２年）には自転車用補助エンジン付きの「パワーフリー号」続いてオートバイ「コレダ号」を発売しました。

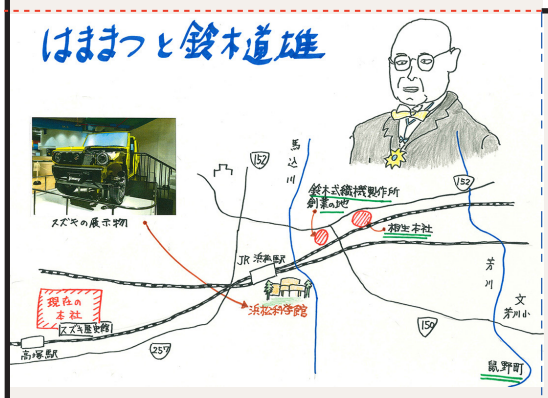


ミニフリー
昭和 29 年 (1954 年) パワーフリー号を
モデルチェンジ

道雄は、自動車を試作しましたが、太平洋戦争のために研究は中止せざるを得なくなりました。

戦争が終わり、まずはオートバイの開発に取り掛かります。

9



道雄は、生涯で１００件以上の発明をしました。
そして、２代目社長の鈴木俊三と共にオートバイ、自動車の開発に取り組みスズキを世界的な自動車会社へと育てました。

13

道雄が生まれた育った鼠野町は、浜松科学館から直線距離でおよそ５km。
同じく、中島の工場や相生本社までは１km もありません。
今の高塚本社と工場は、浜松科学館からおよそ６km のところにあります。

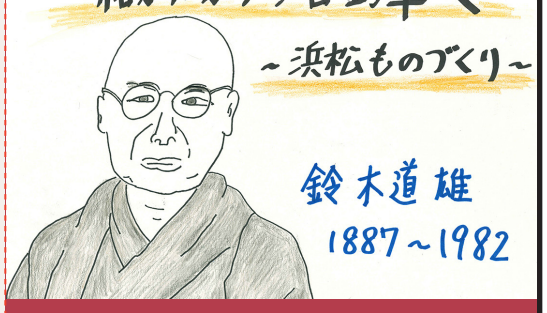
鈴木道雄は、浜松で生まれ、浜松で活躍し、織機づくりから世界の自動車・オートバイメーカーへと発展したスズキの礎をつくりました。

14

浜松の偉人シリーズ　ミニ折本

織機から自動車へ

～浜松ものづくり～



世界的な自動車メーカー、オートバイメーカーとして知られているスズキの創業者鈴木道雄。「織機から自動車へ～浜松ものづくり～」の始まりです。

浜松科学館で会いましょう！

常設展 2 階展示「鈴木道雄」

主な参考資料

・企業サイト「スズキ株式会社」
・「鈴木道雄 95 年の歩み」鈴木道雄記念財団
・「スズキを作った男 鈴木道雄」長谷川直哉／三重大学出版会

浜松科学館
Hamamatsu Science Museum

作成：2025 年 1 月　監修：スズキ株式会社

作成：浜松科学館　監修：スズキ株式会社